

地域委員会第2分科会第4回会議内容要旨

H20. 10. 16 (木) 19:00~20:30 支所第1会議室

◎欠席者：山田委員

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題
 - (1) 地域づくりの推進について
 - (2) その他
- 4 会議内容要旨

【事務局より資料説明】

会長 今までの3回の会議で協議した内容について資料のとおり整理をしてみた。市に要望としてあげていくには、何故必要なのか、必要性を明確にしていけないと予算化はできないと考える。何かを残さないと分科会の意義がなくなると思う。協議してきた内容から地域づくり推進項目としては次の4つに絞られると思うので、皆さんの意見をお聞きしたい。

- ① 旧くて良いものを残していく（旧町名、屋号等）
- ② きれいなまちにしていく
- ③ 地域の子どもたちを応援していく
- ④ 若い世代の交流の場をつくる

- ・必要性があるのは「きれいなまち」だと思うし、与板は他地域よりも環境に恵まれている。子どもたちは良い環境で育っているが、若い世代の交流の場については、残念ながら与板には職場が少ないことから難しい。旧町名についても難しい。河川公園が与板を代表する1つの拠点。河川公園を発信拠点として予算をつけ、地域内外からもっと活用してもらいたい。
- ・実現できるものでまとめていきたい。はっきりとした旧町名の掲示をできないか。住民が一緒になって作る活動をすることにより予算付けをしてもらう。
- ・旧町名の看板をお願いしたい。環境美化は現在もやっている。子どもたちへの支援についても現状を維持していければ良い。
- ・やはり旧町名についてを一番優先して予算付けしてほしい。
- ・環境美化については、まず地域の人が率先して活動した中ではじめて要望できるものではないか。
- ・予算付けとなると看板をつけてもらいたい。商店街でもけっこう町の案内を聞きに来

られる。観光面でも有効と思う。

- ・ゴミ処理機でできた堆肥を農業団体や市など公的機関に買い取ってもらい、行事に利用してもらう仕組みをつくる。
- ・与板ではゴミの軽減活動を行っているというような、住民で何か行動を起こしているということであれば要望もできるが、何もしていないのでは要望もできないのではないかな。
- ・こういうイメージのまちをつくりたいということでボランティアのポイント制度を行っている市町村もあると聞いている。
- ・看板を道路に面しているところに設置するとなると設置基準が難しいこともあるのではないかな。

事務局：1つの案としては1年目は町内会の住民から集まってもらいワークショップを開く予算をつけ、2年目以降に事業を実施していくという複数年の計画で進めていく方法もある。

- ・看板の作成設置であれば住民の理解を得ることができるのではないかな。
- ・地域住民の理解を得ることは必要である。

会 長：方向としては事務局から話をしてもらった方法がよい。それまでに委員の皆さんから資料を集めてもらうということでしょうか。

きれいなまちづくりについては、予算をつけるよりも、まずこのまちはこれをやっているとわかるイメージをつくるのが先決だと思う。

- ・イメージづくりやキャッチフレーズなど、まちぐるみでやっていることを住民に認識してもらうようにすることも重要
- ・橘橋から東橋までの西側の土手に春は菜の花、秋はコスモスを植え、ながおか菜の花プロジェクトに参加するのも良いのでは。

会 長：第2分科会では、①古くて良いものを残していく（旧町名、屋号等）と②きれいなまちにしていくに考え方を絞っていけると思う。次回の会議までに事務局資料の他地域の要望のように取りまとめられるように委員の皆さんで考えをまとめてきてもらいたい。

次回の分科会は11月6日（木）の午後7時から開催する。